

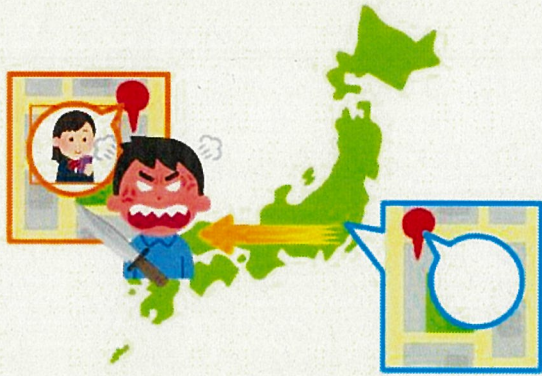
大人のための情報モラル通信

GPS機能を使用したアプリについて

大人のための情報モラル通信は、子どもたちの安心・安全なインターネット利用に向けて、学校の先生方と保護者のみなさま、地域のみなさまに「大人としてできること」を考えていただく為の資料です。

今年の夏休み中に、**GPS機能を使用したアプリを使った事件**が起きたことをご存じでしょうか。この事件では、ある女子高生とその保護者が被害を受けました。

そのアプリでは、お互いが友達登録するとスマホの地図上で相手の居場所がかなり正確に分かります。**滞在時間から勤務先や学校、自宅等も特定**できるでしょう。



男性側の
アプリ表示



居場所をお互いに確認

女子高生側
のアプリ表示



なお、被害者の女子高生は、**ネットで知り合った男性の友達**とそのアプリを使ってやりとりしていたようですが、何らかの理由で相手に返事をしなくなったそうです。

そうしたところ、男性は無視されたことに怒ったらしく、遠方から女子高生の自宅までやってきて刃物で襲ってきました。**アプリを使って家を特定**したようです。

★スマホで撮影した写真等にもGPS情報が★

今回の事件はGPS機能を使用したアプリが悪いというわけではありません。しかし、このようなアプリを誰となら使ってよいのか、よく考えなければいけません。

また、スマホで写真を撮ると**画像データにGPS情報が記録**されることもあります。自宅で撮影した写真をネット友達に送ると、住所がバレるかも知れません。気づかないうちに個人情報が洩れてしまう恐れがあるので、**スマホやアプリの設定確認はとても重要**です。

※SNSの中には、画像等を投稿すると自動でGPS情報が消えるものもあります。



GPS情報はスマホを使う上でとても便利ですが、思わぬ落とし穴もあります。例に挙げたアプリの場合、機能をオフにしないとずっと追跡されます。**GPS情報も「個人情報」**であるという認識を持ち、子どもたちにもその重要性を伝える必要があります。

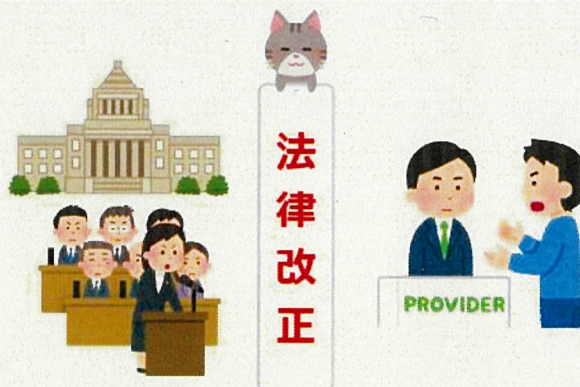
大人のための情報モラル通信

改正プロバイダ責任制限法について

大人のための情報モラル通信は、子どもたちの安心・安全なインターネット利用に向けて、学校の先生方と保護者のみなさま、地域のみなさまに「大人としてできること」を考えていただく為の資料です。

本年度は7月に**侮辱罪の厳罰化**が実施され、インターネット上における誹謗中傷の投稿がこれまでよりも厳しく罰せられることになりました。

今回の内容も法律改正に関するもので、10月から「プロバイダ責任制限法」が改正され、**匿名の発信者の個人特定**がこれまでよりやりやすくなります。



誹謗中傷等を行う人は、**匿名だから自分の投稿だとバレない**、という気持ちで書き込んでいるようですが、実際には書き込んだ**記録がプロバイダに残っています**。

しかし、記録を開示する為には「**複数回の訴訟手続き**」が必要で、時間とお金がたくさんかかりました。そこで今回、被害者を助ける為の法律改正が行われました。

★子どもでも、匿名で攻撃する卑怯な人を許さない★

今後、匿名の誹謗中傷等を行った相手を懲らしめたいような場合は、裁判所への「**1回の手続き(訴訟より簡単)**」だけで、相手の個人情報分かるようになります。

もちろん、裁判所がその投稿の違法性を認めた場合ですが、訴訟手続きが不要になり、これまでと比較して特定までの時間が短くなって、費用も少なくなりそうです。

今後、申し立てを行う人が増加して、**子どもの悪質な投稿も開示される**かもしれません。その場合、**損害賠償請求(保護者の監督責任追及)**や、**警察による捜査**に発展する恐れもあります。



誹謗中傷はダメですが、批判・批評は「意見や評論にとどまる限り」違法性はないとされています。同じ内容でも、言い方や言葉の選び方で判断が変わります。「**表現の自由**」とセットで、「**表現の責任**」についても子ども達に教えてあげてください。